

認知症への理解を深めるための普及啓発の実施状況

圏域等	市町村	事業名（取組等）	対象		R4実施回数	運営従事者	実施経緯・工夫	R5予定
				対象詳細				
仙南	白石市	認知症サポーター養成講座	住民	民生委員	1回	地域包括支援センター職員、認知症地域支援推進員	終活や成年後見制度の話も交えながら行った。	依頼があれば随時対応
		認知症サポーター養成講座	住民	地域住民	1回	地域包括支援センター職員、認知症地域支援推進員	終活や成年後見制度の話も交えながら行った。	依頼があれば随時対応
		認知症サポーター養成講座	公務員	市役所新規採用職員	1回	地域包括支援センター職員、認知症地域支援推進員	寸劇を交えながら認知症の対応の仕方を説明。	依頼があれば随時対応
		認知症サポーター養成講座	企業（サービス）	JA女性部会員	1回	地域包括支援センター職員	寸劇を交えながら認知症の対応の仕方を説明。	依頼があれば随時対応
		広報誌に高齢者SOSネットワーク事業・見守り事業について掲載	住民	広報 市内居宅介護支援事業所	1回	地域包括支援センター	高齢者の権利擁護の啓蒙に合わせて、成年後見制度、高齢者SOSネットワーク事業・見守り事業について掲載した	継続
		世界アルツハイマーデーについてパンフレットを配布	住民	市内居宅介護支援事業所	1回	地域包括支援センター	認知症カフェや家族のつどいのお知らせと共に、パンフレットチラシを配布し啓蒙した。	継続
		認知症カフェ 認知症家族のつどい	住民	認知症カフェ参加者	24回	地域包括支援センター	認知症についての対応の仕方、認知症と栄養、お口の健康、運動、成年後見制度、エンディングノート等について講話や相談を実施した。	継続
角田市		認知症サポーター養成講座	住民、小・中学生	市内小中学校、金融機関、一般住民向けに開催。	6回	角田市地域包括支援センター、キャラバンメイト	ロールプレイ等を日々の生活と関連付けながら講座を開催	依頼があれば、随時対応する。小・中学校と連携し認知症サポーター養成講座を開催予定。
		アルツハイマーデーに合わせた広報誌への掲載	住民		年1回	角田市地域包括支援センター	認知症に対する理解の促進、窓口等について周知	来年度も継続
蔵王町		認知症サポーター養成講座	住民	いきいき学園2年生16人を対象に実施	年1回	地域包括支援センター職員	仙南全市町の高齢化率を交えながら実施。事例の個人ワークも実施した。	依頼があれば継続
		認知症サポーター養成講座	高校生	蔵王高校1年生26人を対象に実施	年1回	地域包括支援センター職員、町内の介護保険事業所職員	介護事業所職員を中心に講義、事例検討を行った。	依頼があれば継続
		認知症サポーター養成講座	民生委員	民生委員31人を対象に実施	年1回	地域包括支援センター職員	民生委員会に非拠点型のチームオレンジを依頼することを前提に実施。町内の現状、寸劇による対応例を紹介しながら講義形式で実施。	改選毎に開催予定
		蔵王町認知症シンポジウム	介護保険事業所職員、認知症当事者、家族	当事者、家族1組、介護保険事業所職員等18人の参加	年1回	地域包括支援センター職員	当事者、家族からの生を声を聞き、そこから支援者としての心構えを学ぶ機会とした。	当事者や家族の会のみを対象にした会への移行もを継続中
七ヶ宿町		広報誌に認知症理解に関する記事を掲載	住民		年1回	高齢者福祉担当	認知症とはどんな病気か、早期発見の目安、相談窓口を掲載	継続
大河原町		認知症サポーター養成講座	住民	はつらつメイト養成講座受講者（6名）	年1回	地域包括支援センター職員	認知症ケアパスを活用し、早期相談や専門職や地域のつながりを意識した講義	継続
		認知症サポーター養成講座	町職員	駅前図書館職員（12名）	年1回	地域包括支援センター職員	図書館利用者の具体例を上げて、対応方法について理解を深めた	
		認知症サポーター養成講座	住民	月曜うめカフェ（11名）	年1回	地域包括支援センター職員、作業療法士	認知症ケアパスを活用し、早期相談や専門職や地域のつながりを意識した講義	
		認知症サポーターステップアップ講座	住民	土曜うめカフェ利用者とはつらつメイト（12名）	年1回	地域包括支援センター職員、作業療法士	認知症サポーターカードのケース作りをしながら、チームオレンジについて話し合った	認知症カフェを拠点に今後も開催
		認知症セミナー	住民	地域住民、地域企業、介護保険事業所等	年1回	地域包括支援センター職員、作業療法士、認知症地域支援推進員	当事者の声を動画で多数視聴していただいた	7/11～12月間に向けて開催予定
		認知症サポーター養成講座	小学生	5、6年生（61名）対象に実施	年1回	地域包括支援センター職員	ソフトバンクとコラボし、ペッパーくんを活用、認知症の理解をクイズ形式で講座を行った	
		認知症サポーター養成講座	住民	老人クラブ女性部会（10名）	年1回	地域包括支援センター職員、認知症キャラバンメイト	認知症ケアパスを活用し、早期相談や専門職や地域のつながりを意識した講義	
村田町		認知症サポーター養成講座	小学生	2か所の小学校で4年生を対象に実施。	年2回	キャラバンメイト	小学生の福祉教育の一環で依頼あり。わかりやすい内容を目指した。	依頼があれば随時対応
		認知症カフェ	住民	認知症の方やその家族、認知症に関心のある方	年10回	包括 キャラバンメイト 町内ケアマネ	カフェ内のミニ講話で正しい認知症理解と啓発に努めた。	継続
		広報誌に認知症理解に関する記事を掲載	住民		年2回	包括	認知症の正しい理解、地域での見守りのポイントなどを掲載。	継続
柴田町		認知症サポーター養成講座	企業（小売業）	小売業従業員に対して実施	1回	キャラバンメイト	認知症等で気になる地域住民について、小売店から地域包括支援センターに相談があり、協力体制を構築する一環として実施。	
		認知症サポーター養成講座	住民		4回	キャラバンメイト	こころの声アンケートの結果を盛り込んだ。	継続
		認知症サポーター養成講座ステップアップ講座	認知症サポーター	認知症サポーターとして活動したい方、認知症のことについて関心がある方	1回	キャラバンメイト、認知症サポーター、認知症家族	認知症当事者の支援を行っている方や家族の体験談を聞いた後、グループワークを行った。	継続

川崎町	認知症サポーター養成講座	支援学校高等部	2年生福祉コース選択者	2日	キャラバンメイト（認知症地域支援推進員）	2回に分けて実施し、ロールプレイや当事者からのビデオレターを取り入れて理解を深めている。	継続
丸森町	広報誌に認知症理解に関する記事を掲載	住民	住民	年1回	地域包括支援センター職員（保健師）	認知症ともの忘れの違い、相談窓口を掲載。	継続
	認知症サポーター養成講座	住民	老人クラブ、各種団体等	年3回	キャラバンメイト	当事者からのメッセージの視聴や寸劇等を取り入れた。	継続
	アルツハイマーデー及び月間における普及啓発	住民	役場庁舎来庁者	年1回	地域包括支援センター職員、認知症カフェ参加者	ポスター掲示、認知症関連事業の周知。認知症カフェ参加者と飾り付け用のお花を作成。	継続
	相談窓口としての地域包括支援センターのチラシの配布、設置	住民	医療機関、民生委員、まちづくりセンター等	随時	地域包括支援センター職員	相談窓口の周知のため、地域包括支援センターのチラシを作成し配布した。	継続
仙台	仙台市	小学生		11回	キャラバンメイト（地域包括支援センター職員 他）	認知症を理解してもらいやすいよう、対象ごとに寸劇や紙芝居、ロールプレイングを活用。認知症当事者の声を直接聞く機会を設ける例もあった。	継続
	認知症サポーター養成講座	中学生		9回	キャラバンメイト（地域包括支援センター職員 他）	同上	継続
	認知症サポーター養成講座	高校生		1回	キャラバンメイト（地域包括支援センター職員 他）	同上	継続
	認知症サポーター養成講座	大学・専門学校		9回	キャラバンメイト（地域包括支援センター職員 他）	同上	継続
	認知症サポーター養成講座	住民他		約50回	キャラバンメイト（地域包括支援センター職員 他）	同上	継続
	認知症サポーター養成講座	企業		28回	キャラバンメイト（地域包括支援センター職員 他）	同上	継続
	塩竈市	住民	町内会、サークル	年5回	キャラバンメイト（地域包括支援センター職員）		依頼時対応
	認知症サポーター養成講座	事業所	介護事業所	年2回	キャラバンメイト（地域包括支援センター職員）		依頼時対応
	認知症サポーター養成講座	企業	・マッサージ ・保険会社	年3回	キャラバンメイト（地域包括支援センター職員）		依頼時対応
	名取市	市民		年3回	包括・事業所から媒体の提供。市作成	アルツハイマー月間に名取市図書館やイオンモール名取等で開催。手作り感のある媒体の作成を心掛けた。	継続
	認知症サポーター養成講座	市職員	新規採用職員に対しての実施	1回	市キャラバンメイト、職員	感染対策を講じて開催	未定
	認知症サポーター養成講座	中学生	127名	1回	キャラバンメイト	感染対策を講じて開催	継続
	認知症サポーター養成講座	住民	認知症家族等交流会受託事業所が開催	7回	キャラバンメイト、交流会受託事業所	感染対策を講じて開催	継続
	認知症サポーター養成講座	住民	通いの場、認知症カフェ等	1回	キャラバンメイト	感染対策を講じて開催	継続
	多賀城市	住民等	一般住民等	年8回	キャラバンメイト（地域包括支援センター職員、施設管理者等）、市保健師	当事者からのメッセージDVDやグループワークなどを実施	継続
	認知症サポーター養成講座	シルバー人材センター会員	シルバー人材センター新規登録者（希望者）	年4回	キャラバン・メイト（シルバー人材センター）、包括職員	シルバー人材新規登録者に対して、包括の機能の紹介や事例紹介	継続
	認知症サポーター養成講座	中学生	中学2年生希望者（63名）を対象として実施	年1回	キャラバンメイト、市保健師	中学校の総合学習（就労体験）の一環で依頼あり。本人からのメッセージDVD、グループワーク、ロールプレイを取り入れた。	依頼があれば、随時対応。
	認知症サポーターフォローアップ講座	住民等	認知症サポーター養成講座受講者	年4回	キャラバンメイト、認知症の人と家族の会（認知症当事者とその家族）、警察署、市保健師、包括職員	中核症状や周辺症状への理解と対応・はいかいSOS・介護者支援など毎回テーマを決めて実施	継続
	狂犬病予防注射会場での普及啓発	住民	飼い犬登録者で狂犬病予防注射会場来所者	年1回	市職員（生活環境課）	認知症・SOSネットワークなどの理解を深め、犬の散歩をしながらできる見守り協力についてのチラシを受付で配布	継続（他課と協議の上）
	介護保険まるわかり講座	住民	当該月に新たに65歳の誕生日を迎える市民	年12回	介護・障害福祉課職員、健康長寿課職員	要介護認定になる要因で一番多いのが認知症であることや社会性の維持が大切であることの周知、各種講座のPR	継続
	脳と体のいきいき講座	住民	運動制限のない前期高齢者	年7回	健康長寿課職員	認知症予防の運動を中心に、認知症とはどのような病気か理解を深める講話を行い、相談窓口を周知。サポーター養成講座の案内	継続
	岩沼市	市民	老人会等の市民団体等	随時	地域包括支援センター	認知症の基礎知識と高齢者の見守りポイントや相談窓口の周知を意識した	継続
	認知症サポーター養成講座	企業	病院の新採職員、生活援助員を対象に実施	随時	地域包括支援センター	認知症の基礎知識と高齢者の見守りポイントや相談窓口の周知を意識した	継続
	認知症サポーター養成講座	市職員	左記を対象に実施	年1回	地域包括支援センター・市職員	高齢者の見守りポイントや相談窓口の周知を意識した	継続
	認知症サポーター養成講座	中学生	市内全中学校1年生（426名）を対象に実施	年1回	地域包括支援センター、市職員	認知症の基礎知識と高齢者の見守りポイントや相談窓口の周知を意識した	継続
	認知症サポーター養成講座	小学生	小学生（110名）を対象に実施	随時	地域包括支援センター	認知症の基礎知識と高齢者の見守りポイントや相談窓口の周知を意識した	継続
	図書館に認知症理解に関する特設コーナーを設置	市民	図書館利用者	年1回	市職員	認知症の普及啓発資料や関連図書の設置	継続
	認知症を知る月間（広報特集）	市民	市民	年1回	市職員	認知症の基礎知識、相談先・つながる先の紹介、支えるしくみ等の掲載	継続
	認知症セミナー	市民	市民	年1回	外部講師、市職員、地域包括支援センター職員	高齢者や認知症の人の運転免許返納について考える講話及び当事者の体験談	継続

	認知症出前講座	市民	自主サロン、公民館講座、介護予防運動教室	随時	市職員、地域包括支援センター職員、認知症初期集中支援チーム員	対象者の年齢やニーズに合わせて	継続
富谷市	認知症学びの講座（認知症サポーター養成講座）【学童域】	中学生	中学生を対象として実施。	年2回	キャラバンメイト、保健師、地域包括支援センター	希望のあった学校に対して実施。	新型コロナの様子を見ながら市内5校全てで実施していきけるよう取り組んでいく。
	認知症学びの講座（認知症サポーター養成講座）【一般】	住民	地域住民を対象として実施。	随時	キャラバンメイト、保健師、地域包括支援センター	各地域包括支援センターで地域支援推進員が活躍している。各地域の団体や住民に対して随時実施。	継続
	認知症学びの講座（認知症サポーター養成講座）【職域】	市職員	市役所職員を対象として実施。	年1回	キャラバンメイト、保健師	市役所内職員を対象に実施。	毎年実施予定であり、全ての職員が受講することを目標としている。
	認知症学びの講座（認知症サポーター養成講座）【職域】	企業（商工会）	商工会加入店を対象として実施。	年1回	キャラバンメイト、保健師	商工会加入店を対象に実施。	市内の商工会加入店へ周知し、随時開催。
	認知症サポーター養成フォローアップ研修【一般】	住民	オレンジリングを所有している方。	年1回	キャラバンメイト、保健師	サポーターとして具体的な活動へ展開できるようフォローアップ研修を実施予定。	継続
亘理町	認知症理解に関するパンフレット配布	住民	役場等への来庁者、出前講座やイベント等の参加者	随時	包括職員	認知症とはどんな病気かの説明資料や、認知症関連事業の紹介	継続
	包括の広報誌に認知症理解の記事を掲載	住民	医療機関・役場関係機関にて配布	年4回	包括職員	相談窓口の周知	継続
	認知症サポーター養成講座	住民	町内会・地域住民	1回	キャラバンメイト、包括職員	キャラバンメイト、包括職員	継続
山元町	認知症サポーター養成講座	住民		3回	地域包括支援センター職員	初めて聞く方でも分かりやすい内容にした	地域から要望があれば、随時開催
松島町	認知症サポーター養成講座	小学6年生	町内の小学6年生全員を対象として実施	3回	キャラバンメイト（地域包括支援センター職員）	参加者に質問したり、紙芝居を取り入れたり、理解しやすい工夫している。	継続
	認知症サポーター養成講座	地域サロン	地域サロン参加者を対象として実施	2回	キャラバンメイト、地域包括支援センター職員	参加者に問いかけながら、参加型の講座を実施している。	随時、依頼があれば実施
	認知症サポーター養成講座	町民	町民や町内に勤める方等を対象として実施	1回	キャラバンメイト、地域包括支援センター職員	参加者に問いかけながら、参加型の講座を実施している。	継続
	認知症サポーター養成講座	民生委員	民生委員を対象として3月に実施予定	1回	キャラバンメイト、町民福祉課職員		
七ヶ浜町	認知症サポーター養成講座	住民	地区介護予防教室で開催	年2回	キャラバンメイトと地域包括支援センター職員	町介護予防教室と連携し実施。キャラバンメイトと連携。協力。	継続
	認知症啓発のぼりの掲示	住民	町住民	通年	地域包括支援センター職員	認知症サポーターキャラバンの啓発推進キャラクターも掲載	継続
	町広報誌に認知症の介護等に関する記事掲載	住民	町住民	年5回	地域包括支援センター職員	介護者が早期相談できるように認知症の症状や対応等の具体例を掲載	継続
利府町	認知症サポーター養成講座	町民 外	町民、各種団体	6回（随時）	キャラバンメイト	認知症理解講話、映像による講座	継続
	認知症サポーターステップアップ講座	町民 外	町民、各種団体	3回（随時）	キャラバンメイト	認知症理解講話、映像による講座	継続
	広報紙に認知症に関する記事を掲載	町民		1回	担当課職員	認知症の普及啓蒙のために9月の世界アルツハイマー月間について掲載	継続
	のぼり旗の設置	町民		9月の1か月間	担当課職員	認知症の普及啓蒙のために役場等に設置	継続
	ケアバス・認知症パンフレットの設置	町民		通年	担当課職員	認知症の普及啓蒙のために役場等に設置	継続
	介護予防講演会	町民		1回	地域包括支援センター	認知症理解のための講演会を開催。	未定
大和町	認知症サポーター養成講座	住民	一般住民等	年1回	町職員 キャラバンメイト	一般住民を対象として事務局主催で年1回開催。認知症の理解と国の施策、町の取り組みを紹介。	継続
	認知症サポーターフォローアップ研修会	サポ登録者	町内の認知症サポーター居宅介護支援事業所職員	2回	町職員 地域包括支援センター職員	サポーターの勉強会として実施。当事者目線での認知症の理解とサポーターの役割を再確認。	
	認知症サポーター座談会	サポ登録者	R4年度フォローアップ研修会に参加した方		町職員 地域包括支援センター職員	サポーター同士の交流と活動紹介を行うことで、活動促進を目指す。	今年度新規開催、R5.2月開催予定
	広報紙への掲載	住民	一般住民等	4回	町職員	広報紙に特集ページを掲載。認知症の理解と支え合いの重要性、相談窓口や関連事業を紹介。	継続
	アルツハイマー月間に認知症特設ブースを設置	住民	一般住民等	1回	町職員 地域包括支援センター職員	9月に町内施設で認知症特設ブースを設置し、カフェやサボ活動、相談窓口を紹介。関連チラシを配布。	R4.9.14-9.30まで展示
大郷町	認知症サポーター養成講座	住民	住民主体の集いの場等にて実施。	年1回	キャラバンメイト	認知症についての正しい理解と対応時のポイント等について寸劇を交え講話を実施。	依頼があれば随時対応する。
	オレンジ新聞の発行	住民	広報誌の発行と合わせて、全戸配布	年4回	保健福祉課 長寿・介護係	認知症の基礎的な知識を掲載するほか、気づきのチェックリストを掲載することで早期発見につながる機会とした。	継続

	大衡村	認知症サポーター養成講座	住民・企業	一般住民・トヨタ自動車東日本株式会社	1回	キャラバンメイト、保健師	講師独自の資料を使用	小中学生を対象に認知症サポーター養成講座を開催予定
大崎栗原	栗原市	認知症サポーター養成講座	小学生	小学4年生(90名)を対象に実施	年1回	キャラバンメイト	福祉体験と併せ、実施	依頼があれば随時対応
		認知症サポーター養成講座	住民	認知症カフェ参加者、民生委員、市民等	年6回	キャラバン・メイト、地域包括支援センター	QRコードを活用した見守り支援の周知と併せ、見守りの目となることを説明。	地域包括支援センターで企画、依頼があれば随時対応。
		広報誌に認知症の共生をテーマに特集記事掲載	市民		年1回	高齢者福祉担当	認知症の人の理解、共生のイメージづくりを意識。認知症カフェ取材し、認知度を上げる。	3月に掲載予定
		認知症理解に関する講演会の開催	市民	市民、区長、民生委員、認知症サポーター、市内介護サービス事業所職員等	年1回	高齢者福祉担当、認知症地域支援推進員	認知症の人の話を聞き、認知症の理解を深める機会とする。認知症カフェPRコーナー、市内便利屋情報等、情報提供	1月末に開催
大崎市		認知症サポーター養成講座	中学生	中学1年生全員(50名)を対象として実施	年1回	キャラバンメイト、保健師	中学校の総合学習の一環で依頼あり。サポーター養成講座後、介護保険施設での体験学習を行った。	依頼があれば、随時対応する。小学校と連携し、小学校6年生を対象に認知症サポーター講座を開催(年1回)予定
		認知症サポーター養成講座	企業	市内の生命保険会社、コンビニを対象に実施(40名)	2回	キャラバンメイト、保健師	講座に声かけ等のロールプレイを取り入れた。	継続
		広報誌に認知症理解に関する記事を掲載	住民		年1回	高齢福祉担当	市の取り組み周知、認知症とはどんな病気か、早期発見の目安、相談窓口を掲載	認知症に関する講演会を開催予定(年1回)
		認知症サポーター養成講座	職員	市新任職員研修として位置づけ	1回	各地域包括支援センター、メイト、市職員	窓口や電話での対応に生かす。市の状況を伝える。	
色麻町	認知症講演会	住民	一般町民対象	1回	キャラバンメイト包括職員	実際に就労している場面での接し方など交えて講演いただいた。	継続	
加美町		認知症サポーター養成講座	小学生	小学4~5年生(24名)	年2回	キャラバンメイト、保健師	総合学習の一環で依頼を受ける。認知症の正しい理解、対応についての啓発	随時募集継続
		認知症サポーター養成講座	住民	J A組合員による団体、行政区ミニデイ(60名)	年4回	キャラバンメイト、保健師	認知症の正しい理解、対応についての啓発	随時募集継続
涌谷町		認知症サポーター養成講座	高校生	福祉専攻の生徒4名、教員を対象に実施	年1回	キャラバンメイト、地域包括支援センター職員(直営)	生活支援体制整備事業と協働し高校と関係構築。養成講座の内容はキャラバンメイト連絡会で見直しを行なっている。	依頼があれば、随時対応する。継続。
		認知症サポーター養成講座	地域住民	(相談時対応)	随時	キャラバンメイト、地域包括支援センター職員(直営)	養成講座の内容はキャラバンメイト連絡会で見直しを行なっている。	依頼があれば、随時対応する。継続。
		広報誌に認知症理解に関する記事を掲載	地域住民	-	年1回	地域包括支援センター職員(直営)	アルツハイマー月間に併せて、認知症の早期発見の必要性、相談窓口の周知等	継続
		認知症図書の貸出	地域住民	-	年1回	地域包括支援センター職員(直営)	アルツハイマー月間に併せて、町公民館の図書室に認知症図書コーナーを設置。	継続
		認知症図書の貸出	小学生、中学生、高校生	-	通年	地域包括支援センター職員(直営)	若年層への認知症周知にむけて、各学校に持ち回りで認知症図書を設置。	継続
		チラシ設置	企業等	地元商工会、金融機関、町民バス、社協、役場庁舎内等に設置。	通年	地域包括支援センター職員(直営)	広く地域住民に早期発見、早期治療を呼びかけるため、事業所等の窓口に設置を依頼。	継続
		ポスター掲示	役場等	役場庁舎内、医療機関、社協に掲示。	通年	地域包括支援センター職員(直営)	広く地域住民に早期発見、早期治療を呼びかけるため、事業所等の窓口に設置を依頼。	継続
美里町		認知症サポーター養成講座	住民	自治会の町民(希望者)を対象に実施(10名)	年1回	キャラバンメイト、地域包括支援センター職員	自治会長より自治会内の認知症について興味のある町民に参加してほしいと依頼あり。	依頼があれば、随時対応する。
		認知症サポーター養成講座	住民	くらしのサポーター養成講座受講者を対象に実施(18名)	年1回	キャラバンメイト、地域包括支援センター職員	認知症サポーターとしてできることは何かグループワークを行った。	依頼があれば、随時対応する。
		認知症サポーター養成講座	住民	みさと元気塾・脳いきいき教室受講者を対象に実施(18名)	年2回	キャラバンメイト、地域包括支援センター職員	認知症サポーターとしてできることは何かグループワークを行った。	継続
		認知症サポーター養成講座	小学生	小学校2校(3~4年生)を対象として実施	年3回	キャラバンメイト、地域包括支援センター職員	小学校の総合学習の一環で依頼あり。	依頼があれば、随時対応する。
		認知症サポーター養成講座	高校生	高校2校(2年生)を対象として実施	年2回	キャラバンメイト、地域包括支援センター職員	高校の総合学習の一環で依頼あり。	依頼があれば、随時対応する。
		認知症サポーター養成講座	企業(保険)	町内の保険会社職員を対象に実施(15名)	年1回	キャラバンメイト、地域包括支援センター職員	職員に認知症について学んでほしいと依頼あり。認知症の周知、理解について。業務の中で気になる方がいた場合の相談先を伝えた。	依頼があれば、随時対応する。
		認知症に関する講演会	住民	町民	年1回	専門医、地域包括支援センター職員	町民向けに認知症に関する講演会を実施した。	継続
		世界アルツハイマー月間	住民	町内図書館、コミュニティセンターで認知症に関するコーナーの設置	年1回	地域包括支援センター職員	認知症関連図書や作品の展示等を通して認知症の周知を行った。	継続
		みさとっこマーケット	住民	イベント参加者	年1回	地域包括支援センター職員	認知症に関するブースを設置して周知を行った。	随時対応。
		町広報	住民		年1回	地域包括支援センター職員	認知症とはどういう病気か、相談窓口等について掲載。	継続
石巻登米気仙沼	石巻市	認知症サポーター養成講座	住民	一般市民から、中学校、企業等	11回	キャラバンメイト	認知症サポーター養成講座を開催。	依頼があれば随時対応する。

	認知症サポーター養成開放講座	住民	一般市民	年2回	キャラバンメイト、保健師	個人で受講希望の方を対象に、イトーヨーカドーとかわまち交流センターの2ヶ所で開催。	継続
	世界アルツハイマーデー啓発活動	住民	一般市民	年1回	介護保険課 認知症地域支援推進員	石ノ森萬画館、市役所内に認知症に関する啓発コーナーを設置	継続
	オレンジライトアップ	住民	一般市民	年1回	介護保険課 認知症のひとと家族の会	石ノ森萬画館をオレンジライトアップし啓発を行った。	継続
	認知症見守り声かけ訓練	住民	一般市民	年2回	認知症地域支援推進員、保健師	今年度は小規模2ヶ所で開催。(ビッグバン、稲井公民館)	継続
	「認知症サポーターがいます」ステッカーの配布	認サポ受講者	受講団体に配布(商店街・保険会社など)	随時	介護保険課 キャラバン・メイト連絡会	メイトが配付の紹介や積極的に勧める	継続
気仙沼市	認知症サポーター養成講座	地域住民	自治会・交流サロンなど	計9回 (予定含む)	キャラバンメイト、地域包括支援センター職員等	市内の講師一覧「教えて知って応援団」に養成講座を掲載。周知を図っている。	依頼時、対応
	認知症サポーター養成講座	看護学生	看護学生及び教員を対象に実施	年1回	キャラバンメイト	学校から依頼があり毎年開催している。	継続
	認知症サポーター養成講座	保険会社	保険会社職員を対象に実施(22名)	2回	キャラバンメイト	広報に講座の詳細を掲載	依頼時、対応
	認知症サポーター養成講座	小学校	市内小学生と教員に向け実施	1回	キャラバンメイト 地域包括支援センター職員	PTAを経由し、学校へ共有	依頼時、対応
	認知症サポーターステップアップ講座	地域住民	自治会・交流サロンなど	2回	キャラバンメイト	既存団体の定例会に併せて実施。よって、高い参加率であった。	依頼時、対応
	アルツハイマーデー展示イベント	市民	市民	年1回	認知症疾患医療センター・各地域包括支援センター、認知症地域支援推進員	世界アルツハイマーデーパネル展示に合わせて認知症の対応について広く住民に周知。	継続
	市政情報番組での認知症の普及啓発	市民	市民	年1回	認知症地域支援推進員、地域包括支援センター	認知症とはどんな病気か、その病態と認知症への対応について放映	継続※ (※市政情報番組の放映枠内で可能であれば対応)
	七十七銀行出張相談会	市民	市民	年4回	認知症地域支援推進員、地域包括支援センター	認知症地域支援推進員による相談、認知症の周知	継続
登米市	認知症サポーター養成講座	住民	地域住民	年10回	キャラバンメイト	広報誌、コミュニティFMで募集し実施。	随時
	認知症サポーター養成講座	高校生	高校2年生を対象として実施	年1回	キャラバンメイト	学校から依頼があって実施。	依頼があれば、随時対応する。
	認知症サポーター養成講座	小学生	小学4年から6年生を対象として実施。	年1回	キャラバンメイト	社協が主体で実施。	依頼があれば、随時対応する。
	認知症サポーター養成講座	企業(保険)	生命保険会社 社員	年1回	キャラバンメイト	企業から依頼があって実施。	依頼があれば、随時対応する。
	認知症サポーター養成講座	住民	いきいき学園生徒	年1回	キャラバンメイト	認知症についてDVD(当事者の声)を利用し具体的に伝えた。	依頼があれば、随時対応する。
	世界アルツハイマーデー及び月間にあける普及・啓発	住民	コミュニティFM視聴者	年1回	長寿介護課職員	市からのお知らせ枠を利用した	継続
	認知症サポーター養成講座	企業(職業訓練)	JNTO佐沼教室	年1回	キャラバンメイト	企業から依頼があって実施。	依頼があれば、随時対応する。
	世界アルツハイマーデー及び月間にあける普及・啓発	住民		年1回	キャラバンメイト 認知症地域支援推進員 認知症ステップアップ講座修了者 地域包括支援センター職員	認知症ステップアップ講座修了者と共に、市内5カ所の店舗・道の駅で啓発活動を行った。	継続
	認知症サポーター養成講座	住民	ミニデイ	年1回	キャラバンメイト	ミニデイから依頼があって実施。	依頼があれば、随時対応する。
東松島市	認知症サポーター養成講座	住民	地域住民	4回	キャラバンメイト	認知症になっても住み続けられる地域づくりのため実施	住民団体より依頼がある都度開催予定
	認知症サポーター養成講座	企業	市役所 金融機関	2回	キャラバンメイト 市役所職員	認知症になっても住み続けられる地域づくりのため実施	団体より要望がある都度開催予定
	認知症サポーター養成講座	小学生	市内小学校の3年生又は4年生	4回	キャラバンメイト	認知症になっても住み続けられる地域づくりのため実施	団体より要望がある都度開催予定
	認知症サポーター養成講座	施設職員	市内の介護施設職員	4回	キャラバンメイト	認知症になっても住み続けられる地域づくりのため実施	団体より要望がある都度開催予定
	広報紙に認知症事業に関する記事を掲載	住民		1回	認知症施策担当者	認知症地域支援推進員や認知症カフェ、オレンジセーフティネット事業等について掲載	認知症に関する記事を掲載(年1回)
女川町	認知症サポーター養成講座	住民	地域の福祉活動推進員を中心として実施(21名)	年2回	地域包括支援センター職員 認知症のひとと家族の会	介護経験からどのように認知症対応を行ったらよいかを知ってもらう機会とした。病気の特徴についてもっと深めるよう補足の講座を行う予定	継続
	認知症サポーター養成講座	企業(保健)	本町を営業エリアとする職員を対象に実施(25名)	年1回	包括支援センター職員	接客の中で遭遇する認知機能低下者への対応を混乱なく行えるよう、疾患の特徴とその対応について知ってもらうことを重点的に行った。	企業から要望があった時に対応商店街などへの啓発を再開予定
	認知症対応広報啓発	住民		年4回	地域包括支援センター職員	徘徊対策について、また介護者が活用できる事業への参加勧奨の記事掲載	継続
南三陸町	認知症サポーター養成講座	企業	町内郵便局職員を対象に実施。8名参加。	1回	キャラバンメイト 地域包括支援センター職員	パワーポイントを使用し、分かりやすく説明した。	依頼があれば、随時対応する。

認知症サポーター養成講座	中学生	町内2か所の中学生を対象に実施。129名参加。	2回	キャラバンメイト 地域包括支援センター職員	介護劇を行ったり、パワーポイントを使用し分かりやすく説明した。	継続
認知症サポーター養成講座	高校生	志津川高校1年生を対象に実施。46名参加。	1回	キャラバンメイト 地域包括支援センター職員	介護劇を行ったり、パワーポイントを使用し分かりやすく説明した。	継続
認知症サポーター養成講座	住民	介護職員初任者研修修了者を対象に実施。15名参加。	1回	キャラバンメイト 地域包括支援センター職員	パワーポイントを使用し、分かりやすく説明した。	継続
認知症サポーター養成講座	小学生	志津川小学校4年生を対象に実施。20名参加。	1回	キャラバンメイト 地域包括支援センター職員	パワーポイントを使用し、分かりやすく説明した。	継続
認知症講演会	住民、福祉関係者	町内住民や町会の福祉関係機関を対象に実施。174名参加。	1回	キャラバンメイト 地域包括支援センター職員	認知症の病状、関わり方などパワーポイントや介護劇で説明した。	9月実施済